



第1回 ペーパン川・倉沼川災害対策連絡協議会

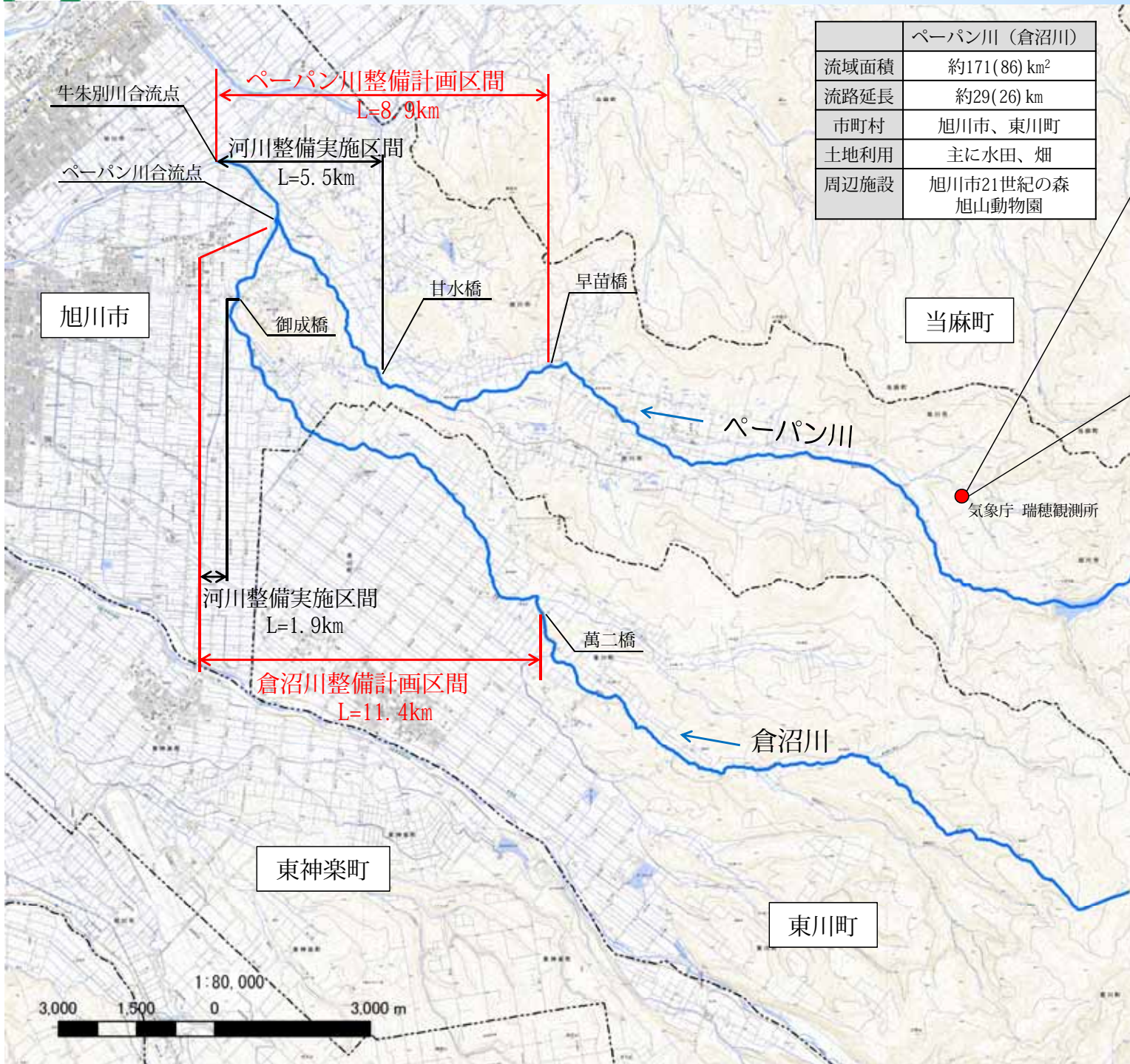
ペーパン川・倉沼川の 被災状況と今後の対応について

平成30年7月19日

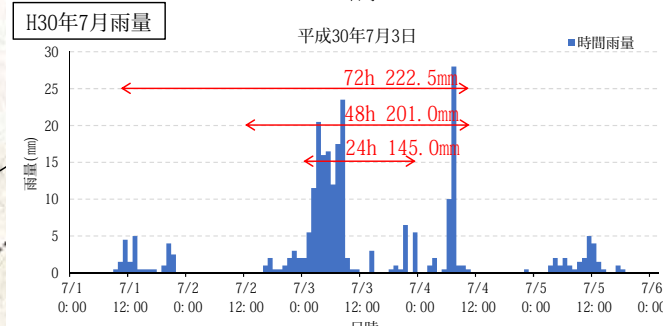
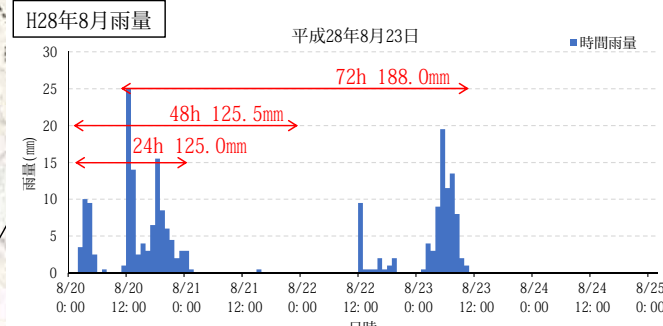
1. ペーパン川・倉沼川の整備状況
2. ペーパン川の被災状況
3. 倉沼川の被災状況
4. 農地被災状況と今後の予定について（資料3）
5. 緊急的な工事について
6. 今後の対応について
 - ①災害復旧事業
 - ②河川整備
7. ペーパン川・倉沼川 災害対策を進める上での課題

北海道 上川総合振興局 旭川建設管理部

1. ペーパン川・倉沼川の整備状況

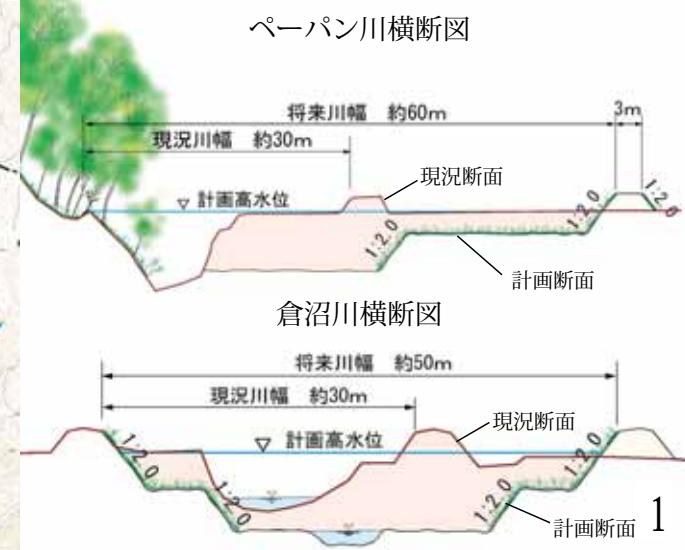


	ペーパン川 (倉沼川)
流域面積	約171(86) km ²
流路延長	約29(26) km
市町村	旭川市、東川町
土地利用	主に水田、畑
周辺施設	旭川市21世紀の森 旭山動物園

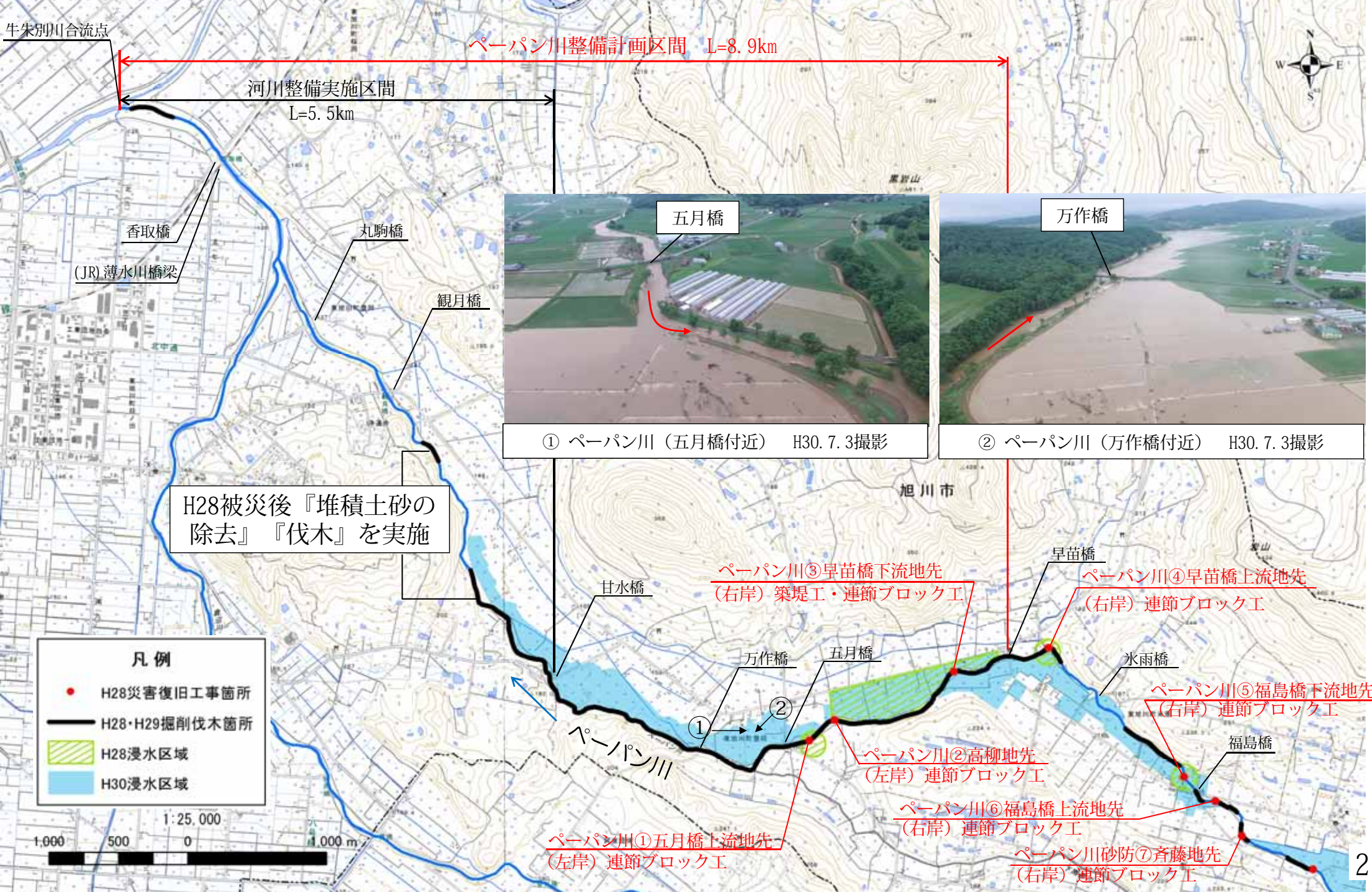


	24時間雨量	48時間雨量	72時間雨量
H28年8月	125.0mm	125.5mm	188.0mm
H30年7月	145.0mm	201.0mm	222.5mm

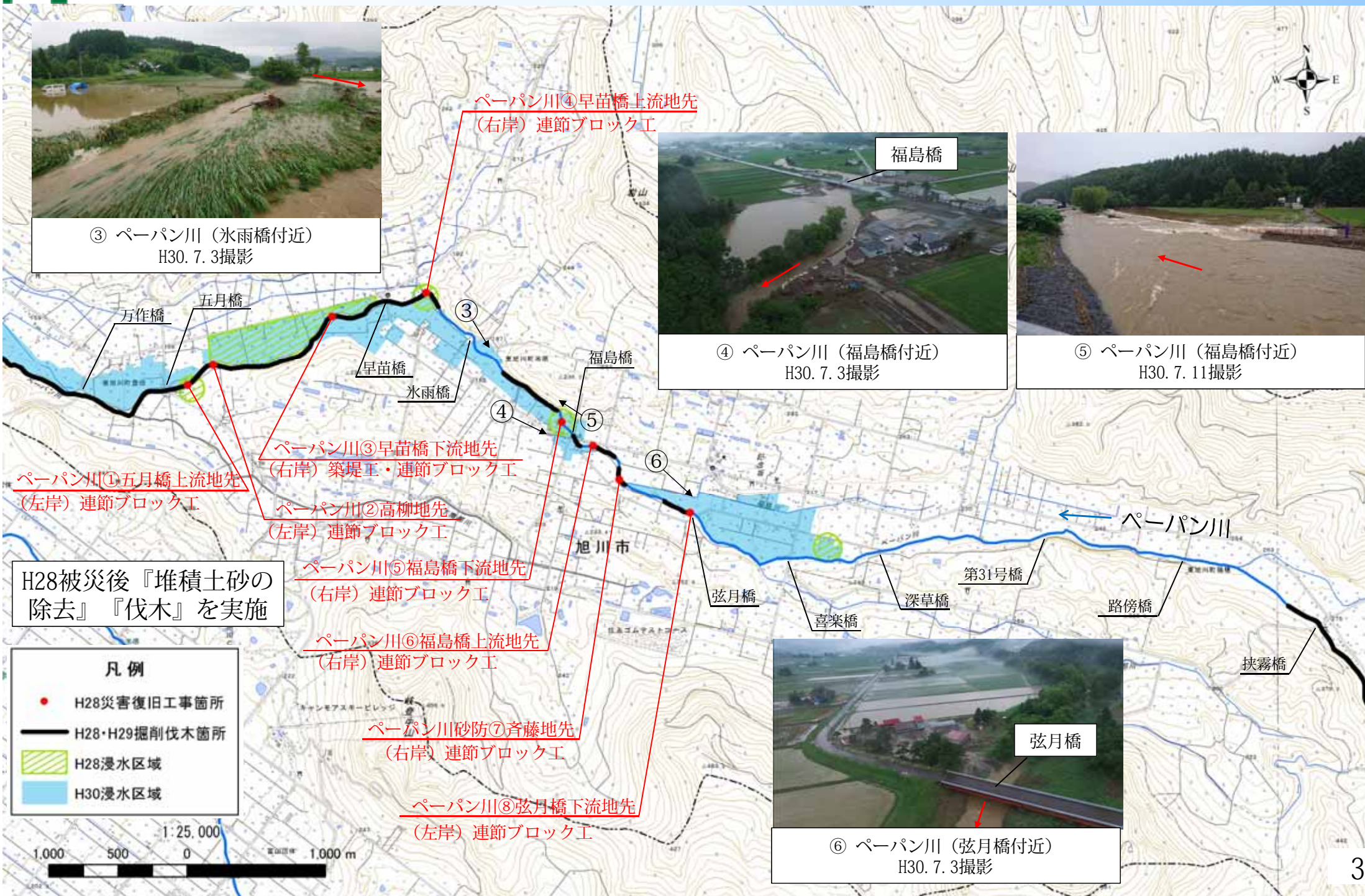
H28年8月よりH30年7月の雨量は多い



2. ペーパン川の被災状況 (1/5)

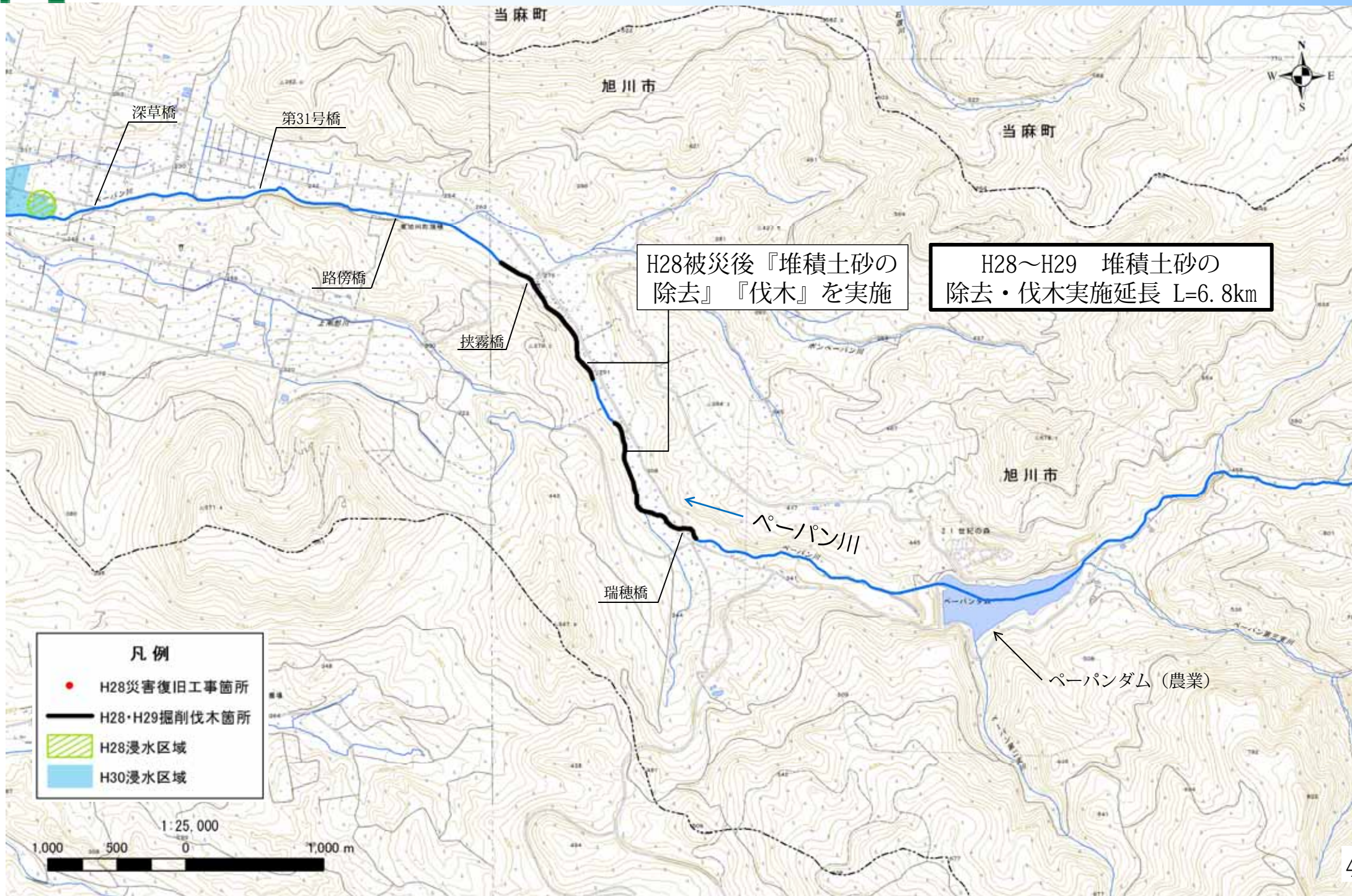


2. ペーパン川の被災状況 (2/5)





2. ペーパン川の被災状況 (3/5)





2. ペーパン川の被災状況 (4/5) 堆積土砂の除去・伐木

H26年10月航空写真 (伐木前)



国土地理院



H28被災後『堆積土砂の除去』『伐木』を実施

H30年7月航空写真 (伐木後)



2. ペーパン川の被災状況 (5/5) 復旧前後

ペーパン川③早苗橋下流地先

上流より撮影



H28. 9. 14撮影



H28. 11. 21撮影

下流より撮影

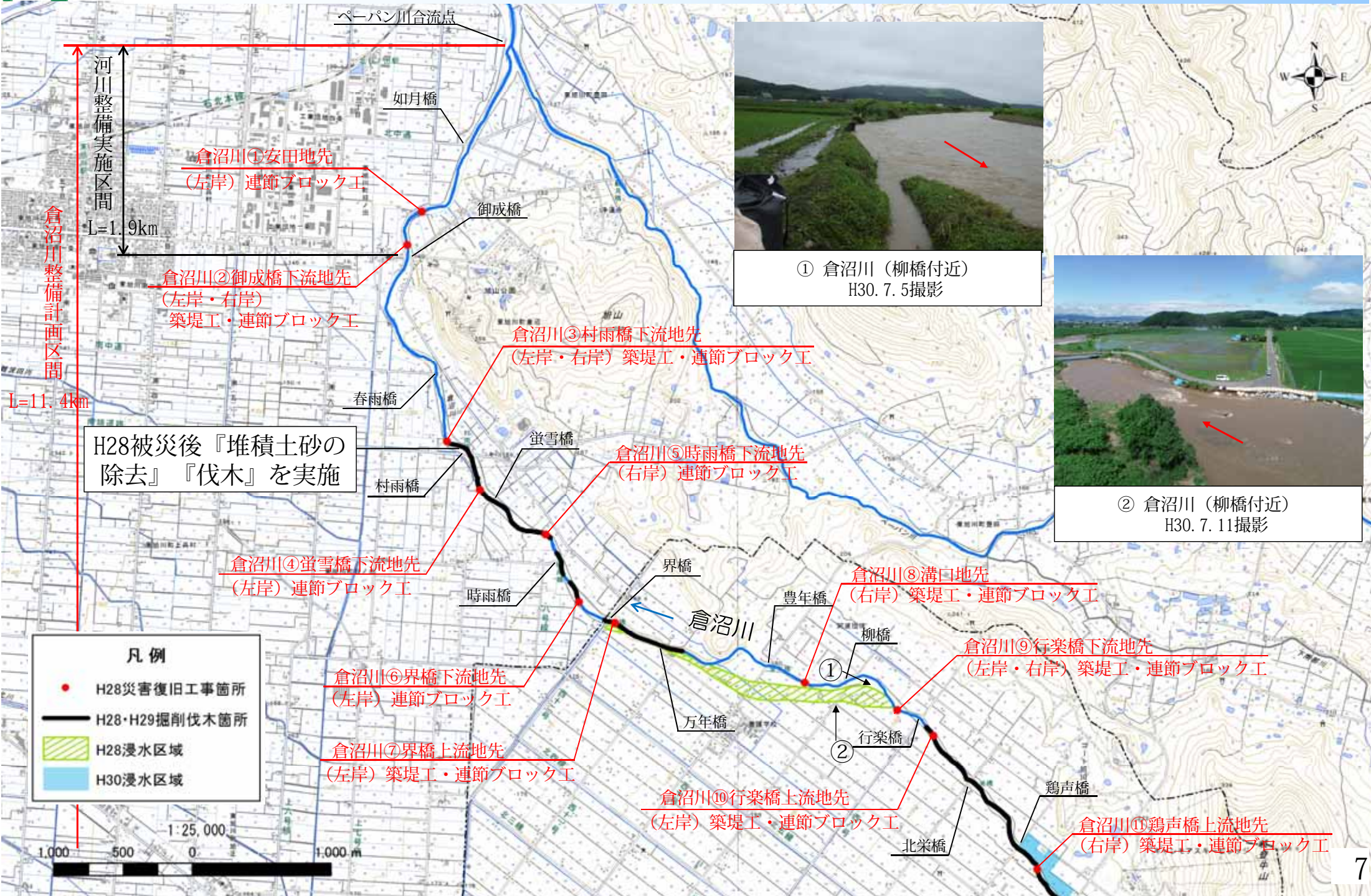


H28. 9. 14撮影



H28. 11. 21撮影

3. 倉沼川の被災状況 (1/4)



H28被災後『堆積土砂の除去』『伐木』を実施

倉沼川整備計画区間
L=11.4km

河川整備実施区間
L=1.9km



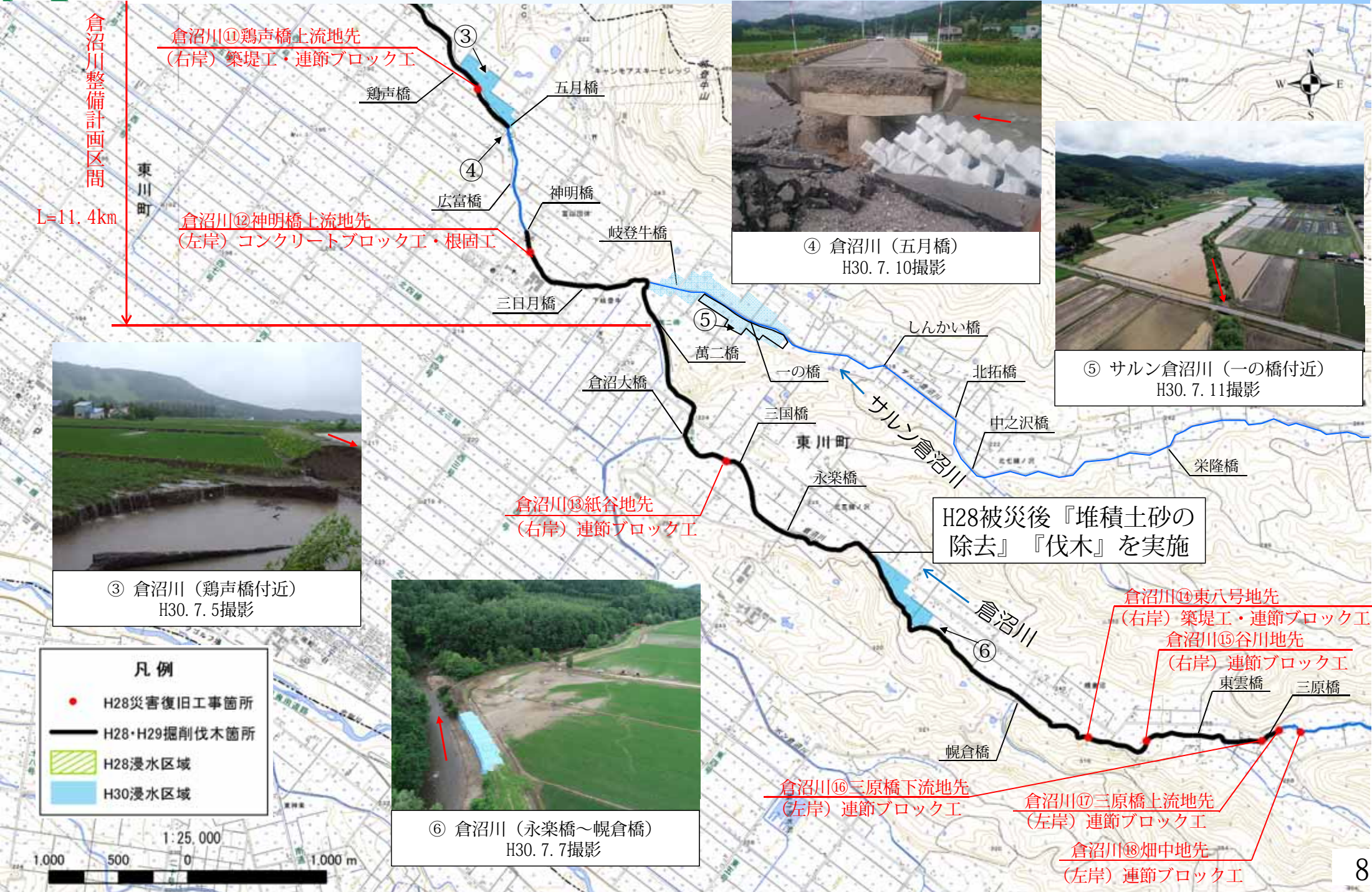
① 倉沼川 (柳橋付近) H30. 7. 5撮影



② 倉沼川 (柳橋付近) H30. 7. 11撮影

- 凡例
- H28災害復旧工事箇所
 - H28・H29掘削伐木箇所
 - ▨ H28浸水区域
 - H30浸水区域

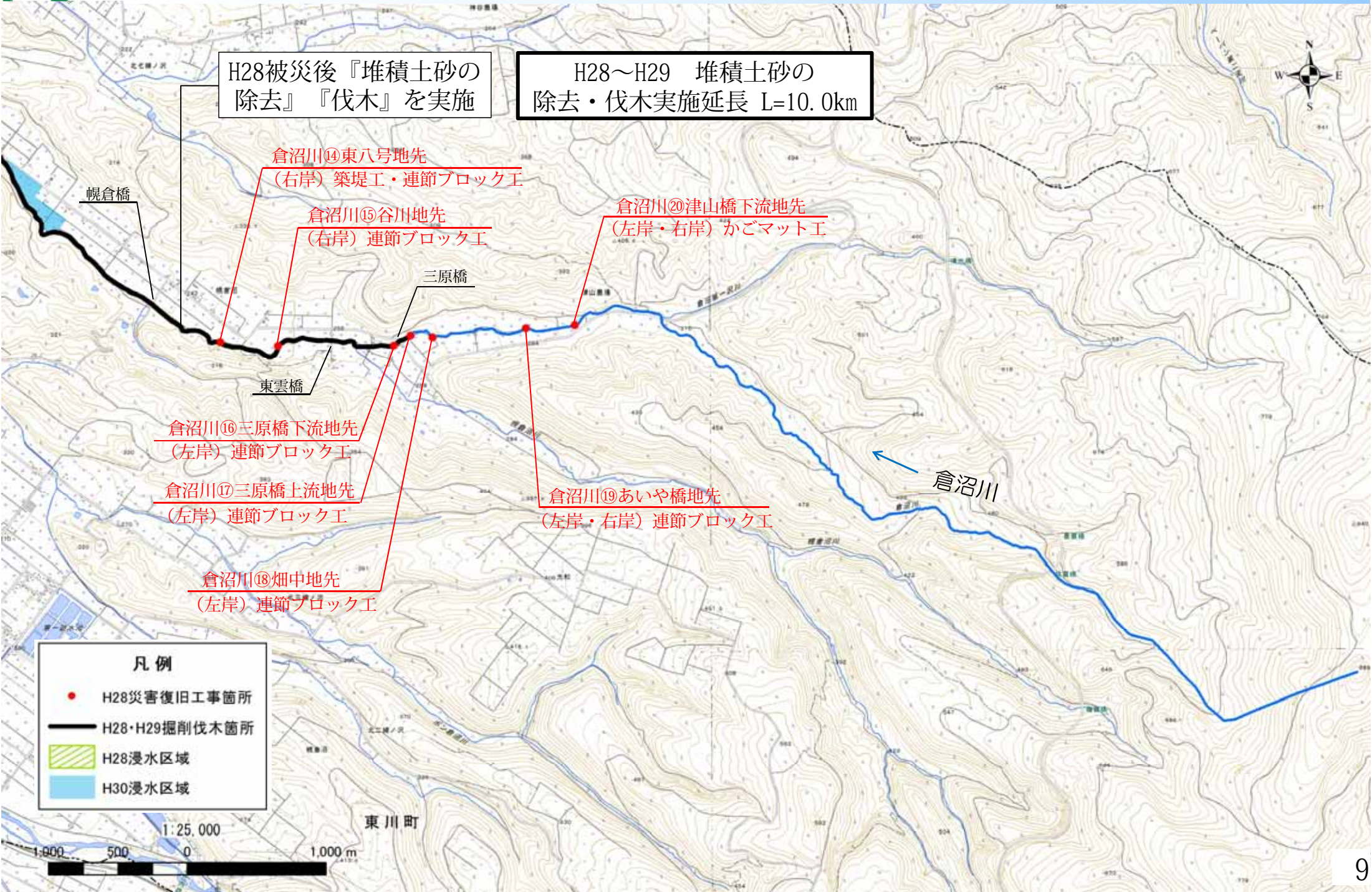
3. 倉沼川の被災状況 (2/4)



3. 倉沼川の被災状況 (3/4)

H28被災後『堆積土砂の除去』『伐木』を実施

H28~H29 堆積土砂の除去・伐木実施延長 L=10.0km



倉沼川@東八号地先
(右岸) 築堤工・連節ブロック工

倉沼川@谷川地先
(右岸) 連節ブロック工

倉沼川@津山橋下流地先
(左岸・右岸) かごマット工

倉沼川@三原橋下流地先
(左岸) 連節ブロック工

倉沼川@三原橋上流地先
(左岸) 連節ブロック工

倉沼川@あいや橋地先
(左岸・右岸) 連節ブロック工

倉沼川@畑中地先
(左岸) 連節ブロック工

凡例

- H28災害復旧工事箇所
- H28・H29掘削伐木箇所
- ▨ H28浸水区域
- H30浸水区域



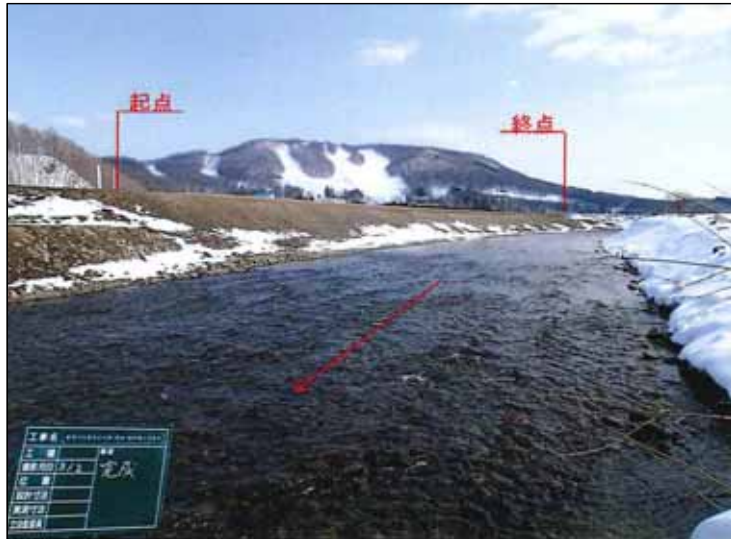
3. 倉沼川の被災状況（4/4） 復旧前後

倉沼川①鶏声橋上流地先

下流より撮影



H28. 9. 10撮影

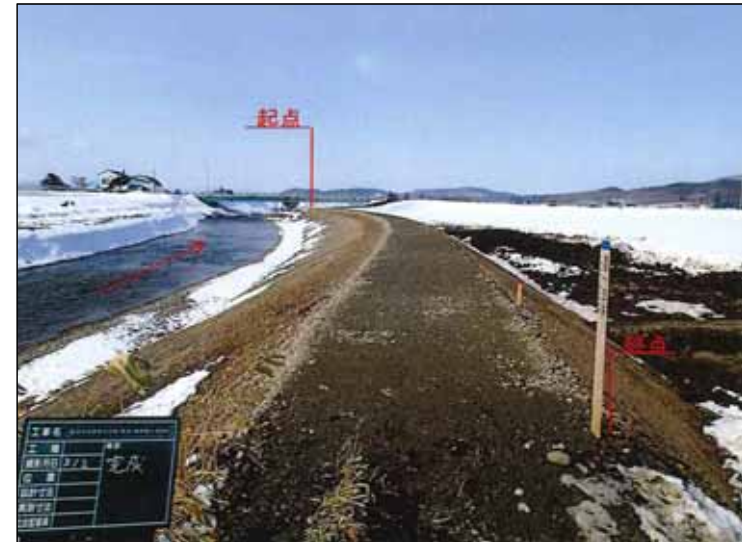


H29. 3. 2撮影

上流より撮影



H28. 9. 10撮影



H29. 3. 2撮影

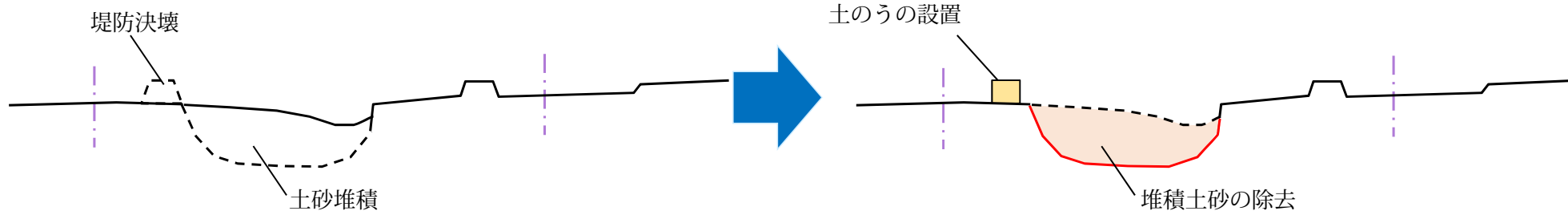
5. 緊急的な工事について (1/4) 土のう設置・堆積土砂除去

- 緊急的な工事として、土のうの設置・堆積土砂の除去を全川的に実施

凡例
- - - 現況用地ライン

現況河道

緊急的な工事



5. 緊急的な工事について (2/4) 土のう設置・堆積土砂除去

ペーパン川五月橋下流決壊状況
(H30. 7. 3撮影)



ペーパン川福島橋下流越水状況
(H30. 7. 6撮影)



ペーパン川五月橋下流ブロック・土のう設置
(H30. 7. 7撮影)



ペーパン川福島橋下流土砂除去・土のう設置
(H30. 7. 15撮影)



5. 緊急的な工事について (3/4) 土のう設置・堆積土砂除去

倉沼川御成橋下流決壊状況 (H30. 7. 6撮影)



倉沼川万年橋下流決壊状況 (H30. 7. 4撮影)



倉沼川御成橋下流ブロック・土のう設置
(H30. 7. 9撮影)



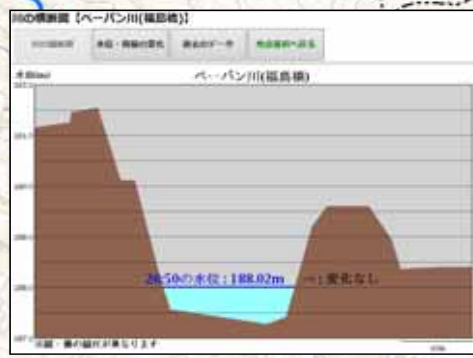
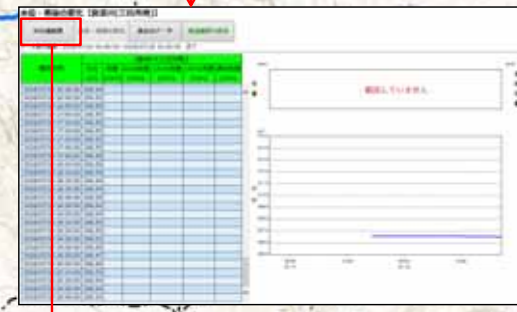
倉沼川万年橋下流土砂除去・土のう設置
(H30. 7. 9撮影)



5. 緊急的な工事について (4/4) 水位計の設置

- ・ペーパン川福島橋、倉沼川三日月橋に新たに水位計を設置予定
- ・既設の水位観測所と合わせ、ペーパン川、倉沼川の水位を把握することが可能となる

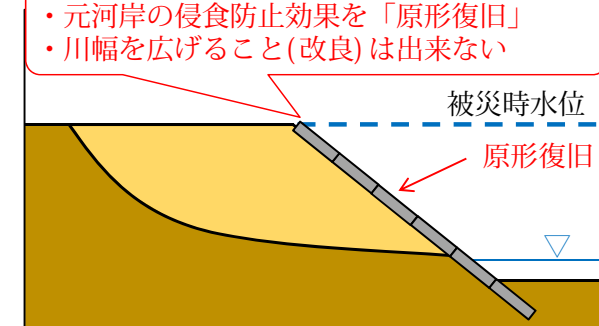
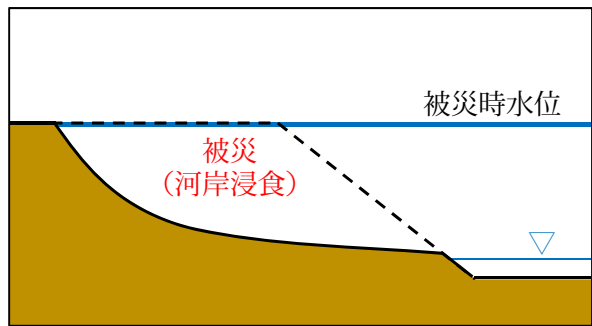
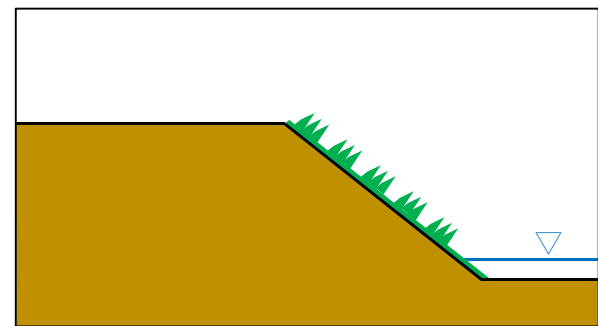
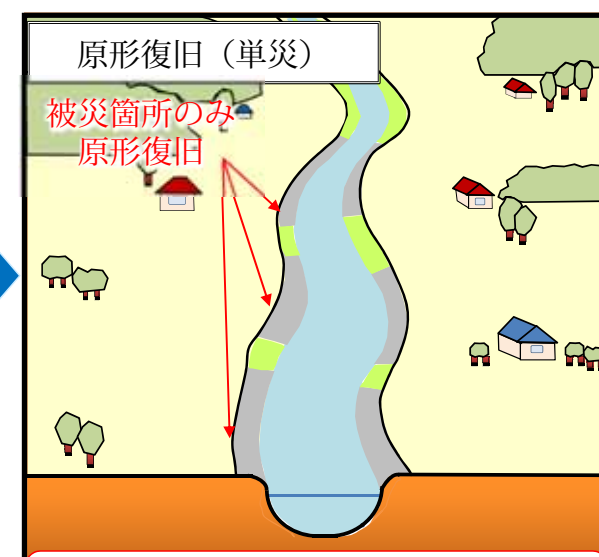
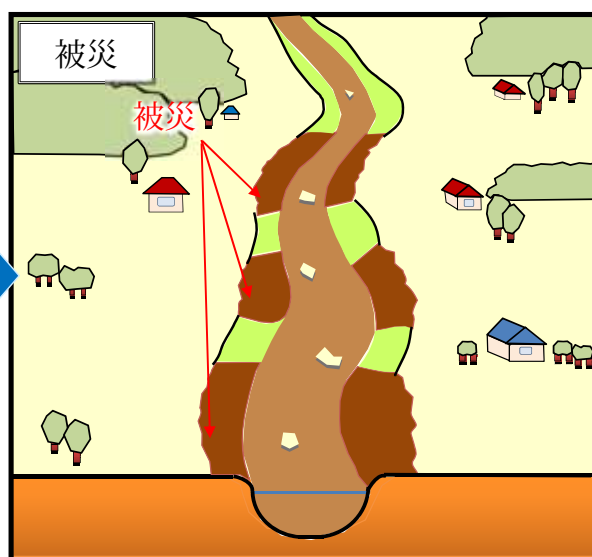
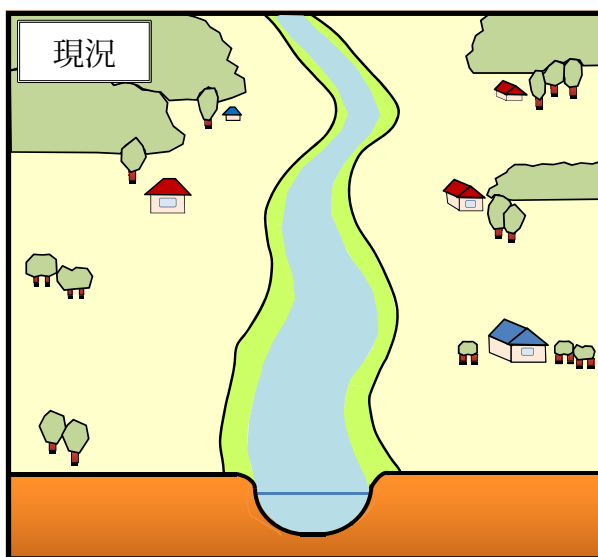
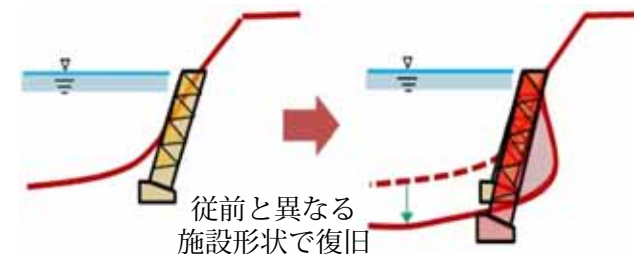




6. 今後の対応について ①災害復旧事業 (1/4) 単災

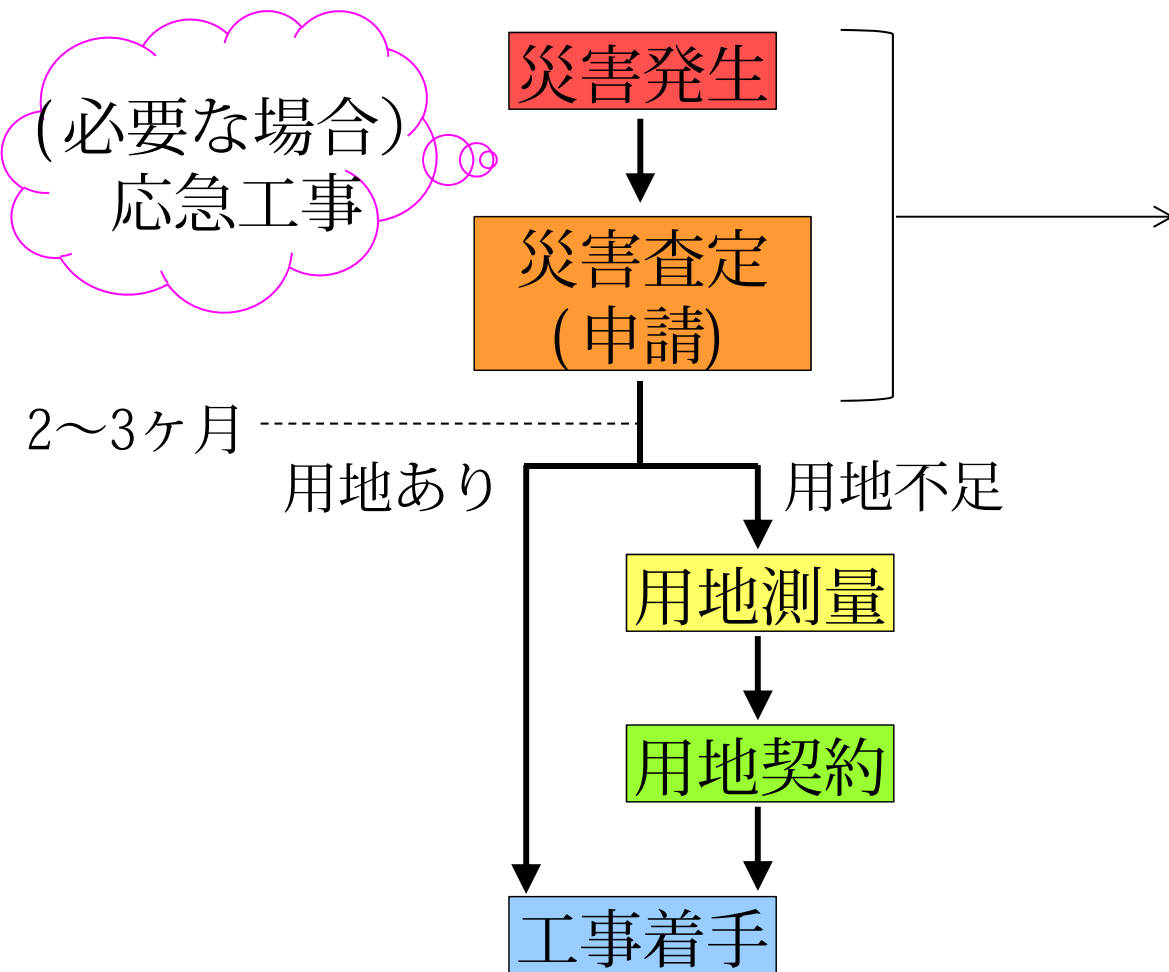
『単災』

- 災害復旧事業とは、被災箇所を原形に復旧することを目的。原形復旧とは、単なる元どおりだけではなく、従前の効用を復旧。
- 不適當な場合には、形状、材質、構造を改良する等、従前と異なる施設形状で復旧することができる。



災害復旧工事の流れ

災害申請、応急工事のスケジュール



7月2~3日	災害発生
7月12日	被災報告 (第1報)
7月26日 (予定)	応急工事発注 ペーパン1本、倉沼川3本
7月31日 (予定)	被災報告 (最終報)
8月17日 (予定)	目論見書提出
9月10日~ (予定)	災害査定

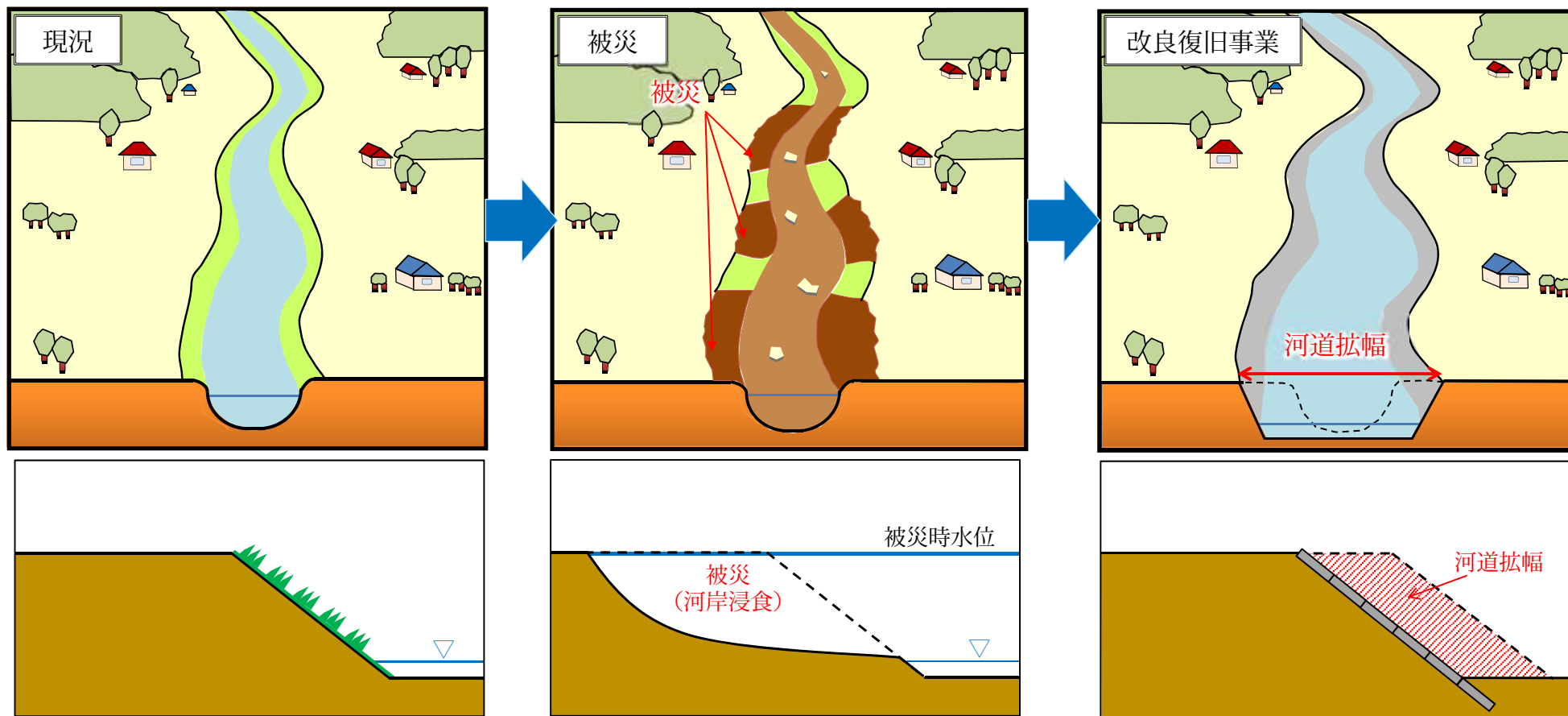
6. 今後の対応について ①災害復旧事業 (3/4) 改良復旧事業

『改良復旧事業』

・「災害復旧事業」は、被災した施設を原形復旧（従前の効用の復旧も可能と）するが・・・

- ・「原形復旧」だけでは事業の効果を発揮する区間・箇所が限定される
- ・「原形復旧」だけでは、再度の災害に対して防御出来ない区間や箇所を放置するリスクがある
- ・「原形復旧」は、次の改修時に工事に手戻りが生じることがある

改良復旧事業





6. 今後の対応について ①災害復旧事業（4/4）河川等災害関連事業

『河川等災害関連事業』

河川又は海岸，砂防，地すべり，急傾斜地，道路，橋梁において，再度災害を防止するため，被災箇所あるいは未被災箇所を含む一連の施設について，災害復旧費に改良費（関連費）を加えて実施する改良事業

3年施工

採択基準（一般基準）

- ①総工事費のうち災害関連工事費の占める割合が原則として五割以下（1:1の原則）
- ②一箇所の災害関連工事費が
都道府県、指定都市：2,400万円以上
市（指定都市を除く）町村：1,800万円以上
- ③原則として他の改良計画がないもの
- ④災害関連事業によって得られる効果が大であるもの（効果比）

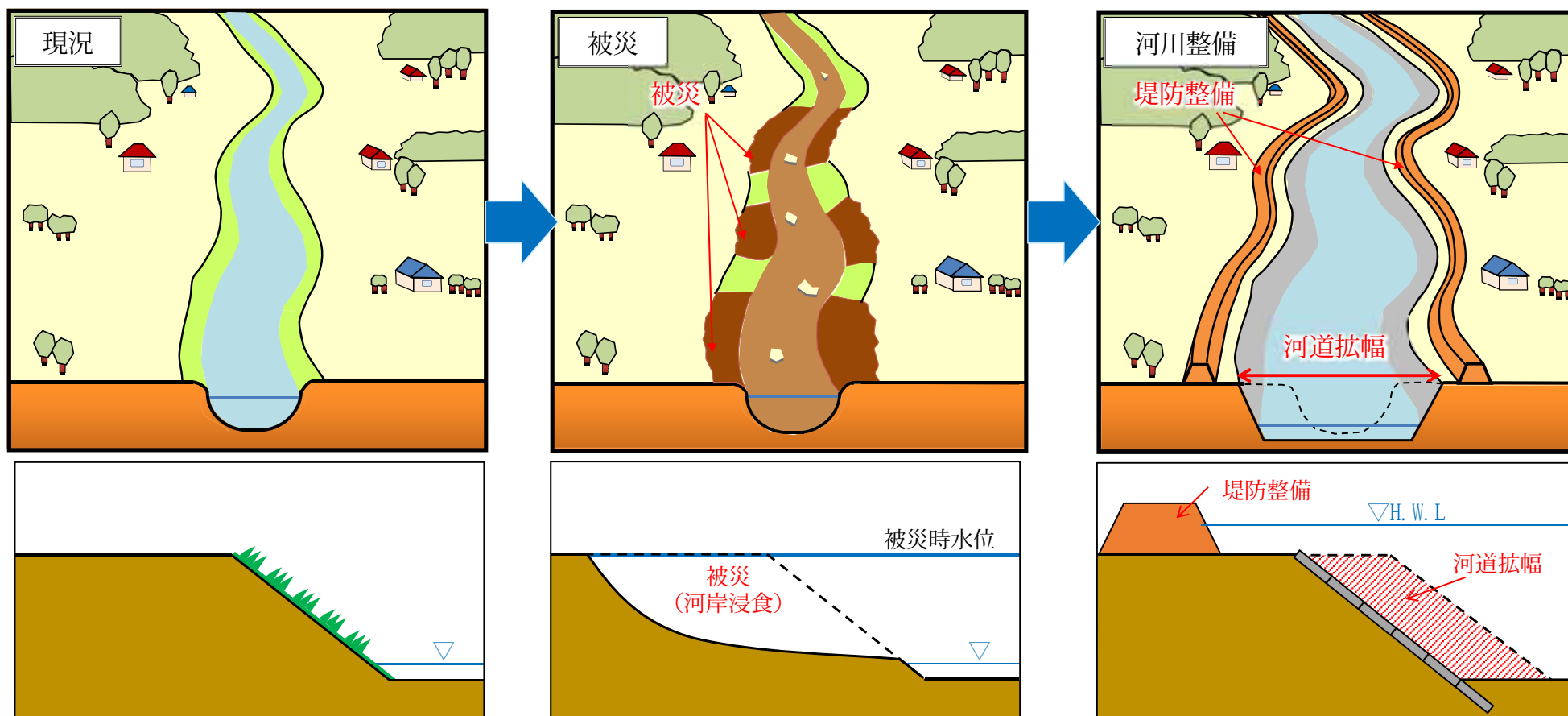
※一定計画に基づく事業は，上限6億円まで

災害関連工事費が1億8千万円以下は現地で決定、その他は本省間協議

6. 今後の対応について ②河川整備 (1/2)

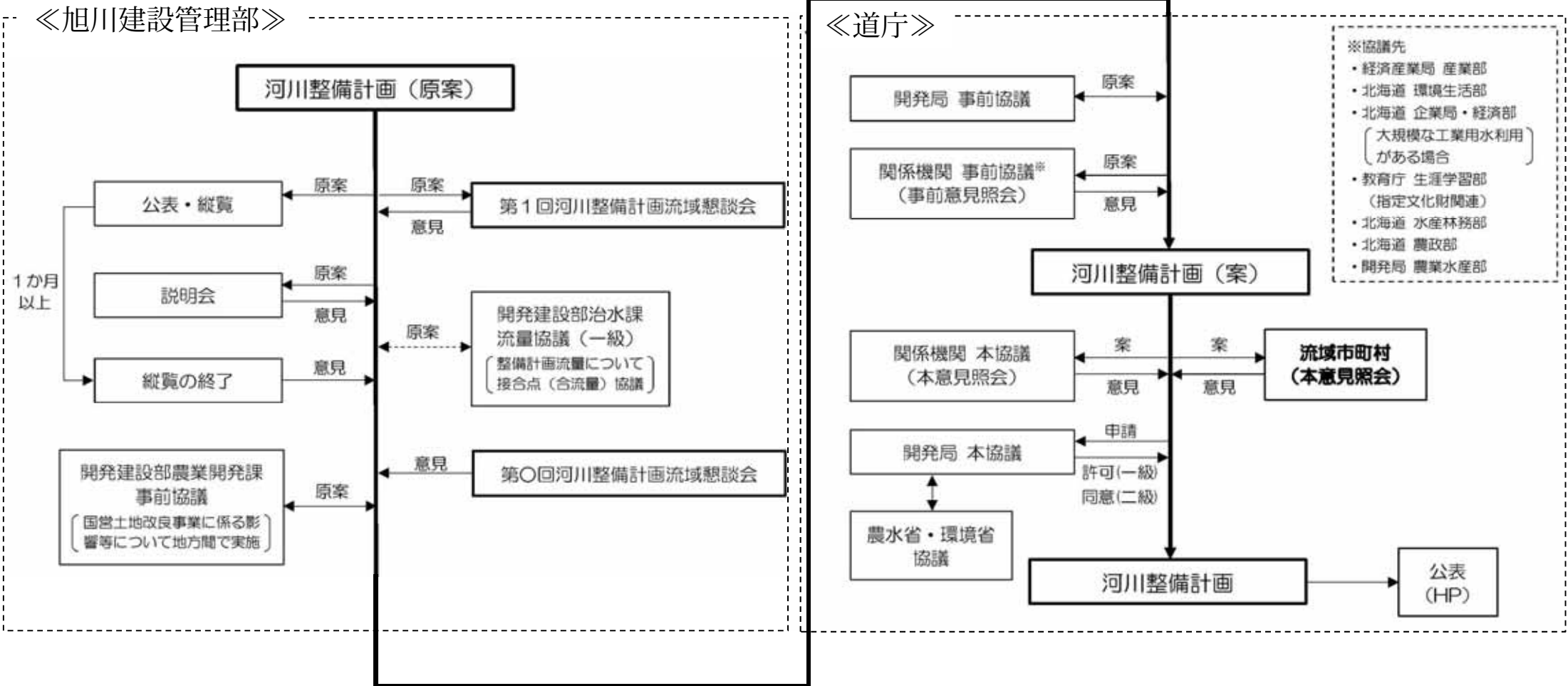
『河川整備』

○河川整備は、災害の発生を防止・軽減するため、河川整備計画に基づき河道の拡幅や堤防の整備などを行うことをいう。



6. 今後の対応について ②河川整備 (2/2)

河川整備計画策定の流れ



【ペーパン川・倉沼川 災害対策を進める上での課題】

1 計画的な河川整備

災害復旧工事、既計画区間（下流部）における
事業推進のための早期の用地確保

2 未計画区間（上流部）における河川整備計画の検討
流域全体としての被害防止・軽減